

Google.org Impact Challenge

Google.org Impact Challenge for Women and Girls

よくある質問

Google.org とその活動について

Google.org インパクトチャレンジとは何ですか？

Google.org インパクトチャレンジ(GIC) は、女性の経済的・社会的活躍をエンパワーする非営利団体や組織を支援するために設けられたプログラムです。Google.org は、審査の結果選ばれた団体・組織に 2,500 万米ドルの基金から助成金を提供します。

Google が Google.org インパクトチャレンジを主催するのはなぜですか？

25 年前、北京宣言及び行動綱領 (Beijing Declaration and Platform for Action) にて、ジェンダー平等の実現という野心的な指針が採択されました。そして 2015 年には、国連は持続可能な開発目標 (SDGs) の一環として、「gender equality and empowerment of all women and girls」(ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う) という目標が定められました。こうした世界規模の取り組みにもかかわらず、女性と男性はいまだに平等とはいえません。さらには COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) を端に発して状況は悪化しており、あるアンケート調査では、女性のおよそ 55% が、コロナ禍において収入が減少したと回答しています。対して、収入が減少したと回答した男性は 34% でした。

世界がコロナ禍において経済・社会の在り方を見直そうとしている今はチャンスでもあると捉えています。

Google.org インパクトチャレンジは、女性の経済社会におけるエンパワーメントを促進するプロジェクトに対して総額 2,500 万米ドルに上る助成金を交付することで、アイデアや経済的インパクトを実現するために必要なツール、リソース、機会を提供します。

Google.org インパクトチャレンジはいつ行われますか？

応募受付期間は 2021 年 3 月 8 日から同年 4 月 9 日です。なお、助成金の交付を受ける団体・組織は、2021 年後半に発表されます。

助成金受給者が得るものは何ですか、また、助成金の規模は？

Google.org は、厳正な審査の結果採択された団体・組織に 2,500 万米ドルに上る基金から助成金を提供します。助成金の規模は、1 団体・組織あたり 30 万~200 万米ドルですが、最終的には採択されたプロジェクトのニーズに基づき具体的に予算が割り当てられます。応募者には、提案内容を正確に反映した予算案を提出することを奨励しています。同様に、追加リソースに関しても、プロジェクトのニーズに合わせて用意されます。さらに採択団体・組織は、助成金交付後も、アイデアの実現に向けてカスタマイズされた追加サポートを受けられる可能性があります。

応募プロセスが 2 段階となっているのはなぜですか？

Google.org インパクトチャレンジの準備のために応募団体・組織が費やすリソースに配慮するためです。2 段階の応募プロセスを通じて、1 段階目では質問の数を減らし、応募に関わるやり取りを軽減することで、応募者の時間節約につなげたいと考えています。

応募と資格

応募資格について教えてください。

Google.org インパクトチャレンジには、非営利慈善団体、その他非営利団体、公立/私立教育機関、研究機関、明確な慈善目的を掲げたプロジェクトに取り組む営利組織（企業）が応募できます。Google.org は、所属するコミュニティと国の両方におけるニーズを理解するイノベーターを求めています。どの団体・組織のどのプロジェクトに助成金を交付するかの最終決定は、Google.org が行います。応募団体・組織は応募者の居住国に登録された事務所を有している必要があります。クリミア、キューバ、イラン、朝鮮、シリアの団体・組織、および当該国におけるプロジェクトは、応募資格がありません。また所属組織のない個人の方にはご応募いただけませんのでご了承ください。

社会的影響力のある営利組織（企業）は応募できますか？

応募資格のある国で正式に法人登録しているか、または当該国の法律に則って組織形態をとっている営利組織は、提案プロジェクトが明らかに慈善目的であり、助成金を活用して創造（または配布）された知的財産（IP）をオープンソース化するのであれば、応募が可能です。

ほかの団体・組織と共同で応募することはできますか？

応募者としては1団体・組織のみを記載可能ですが、技術・ソーシャルセクター等の専門家との連携は歓迎、奨励しています。応募の際に、プロジェクトの遂行に重要なパートナーを指定することができます。助成金対象として採択された場合、そのプロジェクトの応募団体・組織が助成金の唯一の受取先となりますが、パートナーとなる団体・組織のすべてが助成金の契約事項を順守するという条件で、プロジェクト完了のためにほかの団体・組織に資金の一部を助成金から供与したり、業務委託したりすることは可能です。

何語で応募する必要がありますか？

審査から採択までのプロセスを通して応募は英語である必要がありますが、Google.org は多様な英語力の団体・組織の方にご応募いただきたいと考えています。

団体・組織は複数のアイデアを応募できますか？

Google.org が定める応募基準とあなたの団体・組織の長所が生きるプロジェクトがどれかを厳選することを強く奨励します。ですが、内容が大きく異なる優れた2件のプロジェクトがある場合は、それぞれのプロジェクトごとに応募してください。それぞれを個別のプロジェクトとして審査します。なお、以下の条件に該当する場合を除き、いかなる団体・組織も2件以上のプロジェクトを応募することはできません。

大学など複数学部（部門）があるような大きな団体・組織で働いている場合、複数の応募をすることは可能ですか？
大学のように大きな団体・組織は、複数の応募が可能です。こうした教育機関の場合、各研究者代表はプロジェクトを1件のみ提出するようお願いいたします。なお、Google.org インパクトチャレンジは、研究計画への助成金提供プログラムではありませんので、ご注意ください。大きな変化とインパクトをもたらす明確なビジョン、アクションプランを掲げたプロジェクトを募集しています。

団体・組織が、女性の経済的エンパワーメントというテーマで、そのより根本的原因に取り組む形で間接的に支援している場合は、このプログラムに応募できますか？

はい。女性の経済進出におけるエンパワーメントを実現するには、教育やデジタルを受ける機会といった多岐にわたる要素が必要だとGoogle.org は理解しています。応募する際には、あなたの団体・組織とそのミッションが、最終的にいかにして女性たちがアイデアや経済的可能性を実現するのに役立つのか、明確に記載するようにしてください。

秘密情報 / 知的財産 (IP)

提出するプロジェクト案の詳細は、秘密情報として扱われますか？

いいえ。Google.org は、応募されたプロジェクトの内容を秘密情報または専有情報として取り扱うことはありません。また、応募されたプロジェクトの詳細は、内容評価のために社内外の専門家と共有されます。そのため、秘密情報や専有情報を応募内容に含めて提出しないようにお願いします。あなたの団体・組織が助成金の対象として採択された場合、プロジェクトの概要は Google.org インパクトチャレンジのウェブサイトでも一般公開されます。

助成金受給者が創造する知的財産の所有者は誰になりますか？

Google.org は、当該プログラムの支援を受けるプロジェクトは、すべての人々に恩恵を与えるものであるべきだと考えています。プログラムが採択され、助成金を受け取る場合、標準的な助成金契約書において、Google.org からの助成金で創造された知的財産はパブリックドメインライセンスの下で一般に無償公開されることを求められます。あなたの団体・組織が二次審査に進み、助成金プログラムを活用して創造された知的財産を同団体・組織で保有する必要があるという納得のいく理由を提示する場合には、例外措置検討を請求し、その要望のサポートを受ける機会が与えられます。

プロジェクト情報

ここでいう「プロジェクト」の定義を教えてください。

「プロジェクト」は、女性の経済的充足を促進し、その質を高める方法について、所属団体・組織が提案したコンセプトや実施計画を指します。助成金の対象として採択された場合、助成金はこのプロジェクトの実施をサポートします。そのため、Google.org は助成金が計画実現に具体的にどう役立つのかを知る必要があります。

プロジェクトは構想段階でもいいですか？ 団体・組織にとって新しいアイデアである必要はありますか？

はい、女性にとって明らかに恩恵がある明確かつ実現可能な計画の実施についてであれば、構想段階のものでも構いません。提案されるアイデアはまったく新しいものである必要はありません。すでに進行中のものでも構いません。いずれの場合においても、Google.org は助成金が実施、規模、インパクトについて進捗にどう変化を及ぼすのか具体的に知りたいと考えています。

ほかの団体・組織が現在類似のコンセプトを遂行している場合でも、アイデアを提出しても構いませんか？

はい、ただし、プロジェクトはその革新的なアプローチや規模拡大の可能性などを基に評価されることにご留意ください。提案いただくプロジェクトが、コミュニティにとってどう革新的であるかとその理由、そしてあなたの団体・組織がほかと一線を画しておりいかに構想を実現するに相応しいか、またはほかの団体・組織と協働することでどう成功を実現できるかについて説明してください。

プロジェクトの実施をサポートするために、Google.org はどのような支援をしてくれますか？

採択団体・組織は、プロジェクトの進捗に役立つ Google.org や外部団体・組織が主催するワークショップやその他支援プログラムに招待される可能性があります。Google.org はまた、プロジェクトの一部を支援するための無償のサポートまたは従業員ボランティアの派遣を、団体・組織と協働で策定することもあります。例えば、UX デザイン監査、マーケティングの相談、コーチング/メンタリングサポートなどが挙げられます。応募者は、プロジェクト案を提出することで、助成金に関連して提供される支援プログラムにシニアスタッフが（対面形式またはリモート形式）で参加できるよう手配することに同意することになります。

助成金はいつまでに執行しなければならないのですか？

Google.org は、助成金が 12 か月から 36 か月の期間で執行されることを期待しています。

助成金は、一般管理費や人件費に支出しても構いませんか？

はい、ただし、助成金の大部分は、プロジェクトの目的に資するものである必要があります。営利組織は、慈善事業に直接関わる人件費や諸経費にのみ助成金を支出できます。大学やその他の教育機関については、諸経費は予算全体の10%以下でなければなりません。この割合は、助成金受給者、助成金を一部供与されるパートナー、業務委託先皆に適用されます。

プロセス

応募内容を入力する前に、応募書内の設問内容について確認できますか？

はい、できます。一次審査の応募書内にあった設問内容の写しは[こちら](#)で、二次審査の応募書内の設問内容は[こちら](#)でご確認いただけます。尚、二次審査の応募書内の設問内容については、この事前確認に記載されていない設問が追加されることもありますのであらかじめご了承ください。

応募に際し、添付書類や追加情報を含めることはできますか？

応募書内で追加資料へのリンクを記載することができますが、それ以外の添付資料を受け付けることはできません。

応募内容をウェブサイト上で下書きとして保存し、あとで編集できますか？

いいえ、応募は後に完了するために保存しておくことはできません。ですので、応募書に入力する回答内容を別の書類に下書きとして作成し、全体の内容が確定して提出できるようになった段階で初めて応募書に入力することをおすすめします。

応募が問題なく提出されたかはどのように確認すればいいですか？

所定の文字数制限内で必須項目すべてに入力し、[送信] ボタンをクリックします。応募が提出されると、画面に応募受領を知らせる確認メッセージが表示され、またご指定のメールアドレス宛に確認メールが届きます。

応募を提出しましたが、次は何をすればいいですか？

応募いただきありがとうございます。そのほか特にしていただくことはありません。追加情報が必要であれば、こちらからご連絡差し上げます。また、審査が終わりましたら、採択された団体・組織を発表します。

第2段階に進むことができませんでしたが、それでも第2段階の応募を提出できるのでしょうか？

第2段階は、選ばれた団体・組織のみが参加できます。残念ながら第2段階に進まなかった場合は、Google.org インパクトチャレンジの審査対象となることはありません。

応募するのに Google アカウントは必要ですか？

いいえ、応募に Google アカウントは必要ありません。

応募されたプロジェクトはすべて審査されるのでしょうか。

はい、応募資格を満たす受領済みのプロジェクトはすべて審査されます。

「よくある質問」を読んでもまだ質問がある場合はどうしたらいいですか？

さらにご質問がおありの場合は、womenandgirls-challenge@google.com にお問い合わせください。